

先史時代の日本語と中国語の関係

日本語と中国語は本当に全く違う言語か？



野口 和夫

<https://fengxian-urawa.com/>

最終氷期とは？

最終氷期は約7万年前に始まったが、北半球各地での氷床の成長が始まったのは約33000年前からであるらしい。

最終氷期の極大期前後（21000～15000年前）、世界は次のような状態であった。



最終氷期の氷床⇒⇒⇒

- 南極
- グリーンランド
- スカンジナビア半島・バルト海
- 北アメリカ（極大期には連結）
 - ローレンシア（五大湖周辺）
 - コルジエラ（ロッキー山脈）

⇒⇒⇒現代の氷床

- 南極
 - グリーンランド
- ※北極海の上に浮かぶ氷山は氷床ではない。

- 平均気温が現在よりも約6℃低かった。
- 気温、海水温が低下したので、地球全体としては水蒸気が減少して乾燥化。
- 海から水蒸気が供給される地域では、巨大な氷床が大陸各地に発達したので、その分海水が減少。18000年前の極大期には120～130m海面が低下していたので、大陸棚の多くは陸化していた。
- 厚さ2000～3000mに及ぶ巨大な氷床のできた地域では、氷床の重みで最大数100m地盤が沈降（高校の地学でも学習する[アイソスタシー](#)）。

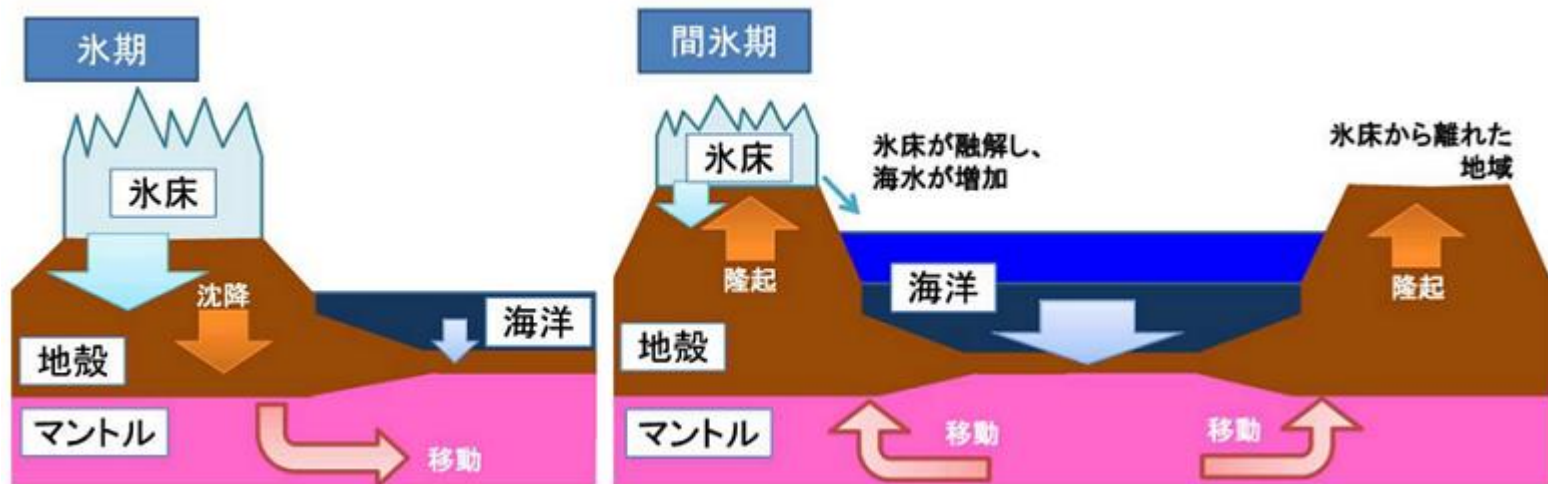
大陸、海洋、大陸棚、氷床

地球の表面は、海洋地殻と大陸地殻に分けられる。

地表の7割を占める海洋は、厚さ5~10 kmの玄武岩質から成る海洋地殻の上に海水が乗っている。

残り3割の大陸は、玄武岩質の層の上に密度が少し低い花崗岩質の層が乗っている。

大陸棚は、一般的には水深200mまでの浅い海の領域を指すが、玄武岩質の層の上に花崗岩質の層が乗っているため、地殻構造から考えると大陸である。実際、氷河期には地表に現れていた。



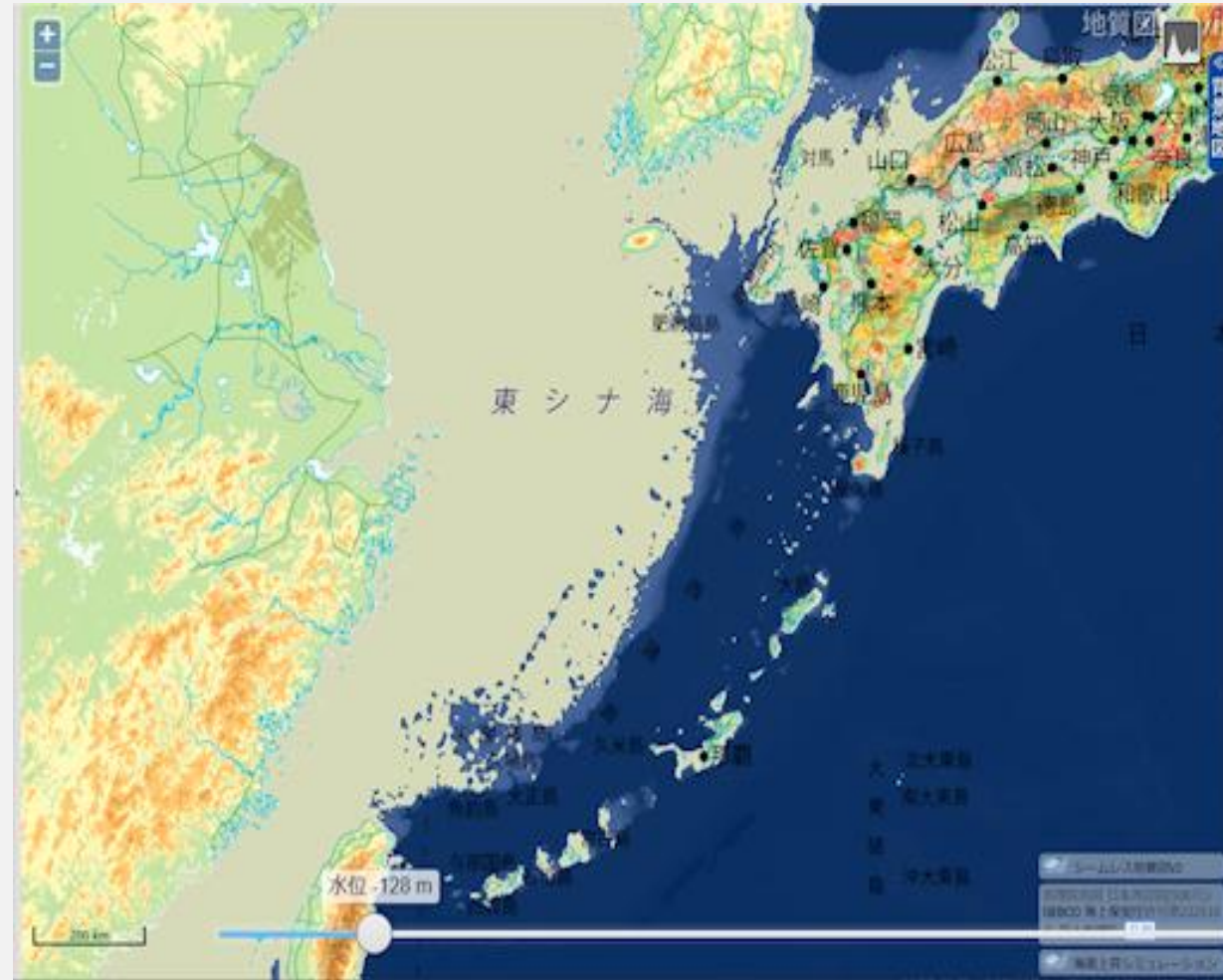
画像は、気象庁 氷河性地殻均衡 (GIA : Glacial Isostatic Adjustment) のページ

https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/knowledge/sl_trend/GIA.html

より

最終氷期極大期(約2万～1万8千年前)の東シナ海

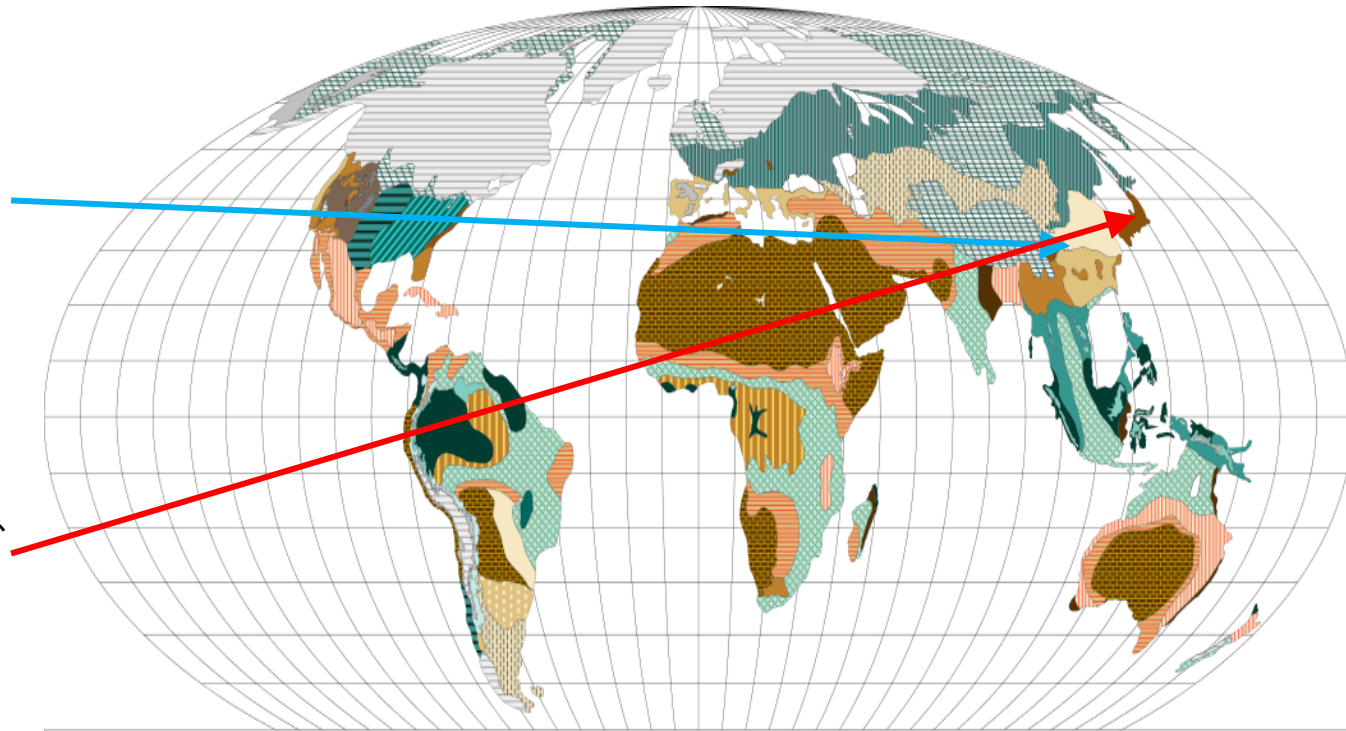
- 現在の東シナ海の3分の2は陸化していて、海だった部分は沖縄トラフだけと大して変わらない広さであった。
- 黄海、渤海は完全に陸化していた。
- 九州と朝鮮半島南岸の間にはかなり広い平野があった。
- 沖縄本島を始めとする南西諸島の島々は現在よりも広く、石垣島と西表島のように合体していたものもあった。
- 宮古島の北東には、現在は存在しない沖縄本島と同じくらいの面積の島があった。



産総研「地質図 Navi」にて作成した海水面 - 128 m の東シナ海地図

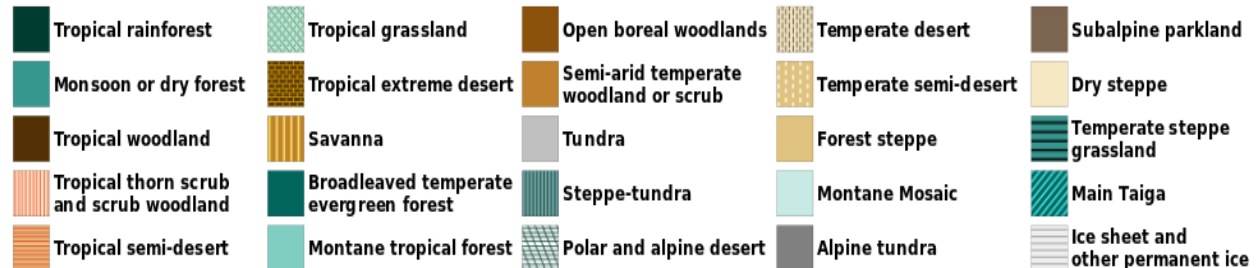
最終氷期極大期の植生パターン

- 「東シナ海平原」の北半分は乾燥ステップ、南半分は森林ステップ（疎開林）であった。
- 黄海と朝鮮半島も乾燥ステップであった。
- 日本列島の本州、九州、四国は「開いた針葉樹林」であった。
- 北海道、サハリン、沿海州、中国東北部は寒冷な小雨気候であった。



Last Glacial Maximum Vegetation

Mollweide projection map generated by @locoluis from shapefile published by Ray, N. and J. M. Adams. 2001 "A GIS-based Vegetation Map of the World at the Last Glacial Maximum (25,000-15,000 BP). Internet Archaeology 11.



Source: http://intarch.ac.uk/journal/issue11/rayadams_toc.html

ウィキペディアの
「最終氷期」の項目
より➡

日本列島への道

約10万年前、出アフリカを果たしたホモ・サピエンスは、約4万年前に日本列島に到達したと推定されている（長野県飯田市の竹佐中原遺跡等3万5千年前の遺跡が発見されている）。

途中の主な拡散地としては、DNAハプログループの研究から、

- ペルシャ湾沿岸
- インダス川流域
- スンダランド

が主張されているが、私（野口）は

- ガンジス川流域
- 東シナ海平原（大陸棚）も有力と考えている。



Powered by Google Earth Pro/web

海水面上昇→東シナ海平原(大陸棚)からの避難

東シナ海平原は無人ではなかった！

気温上昇



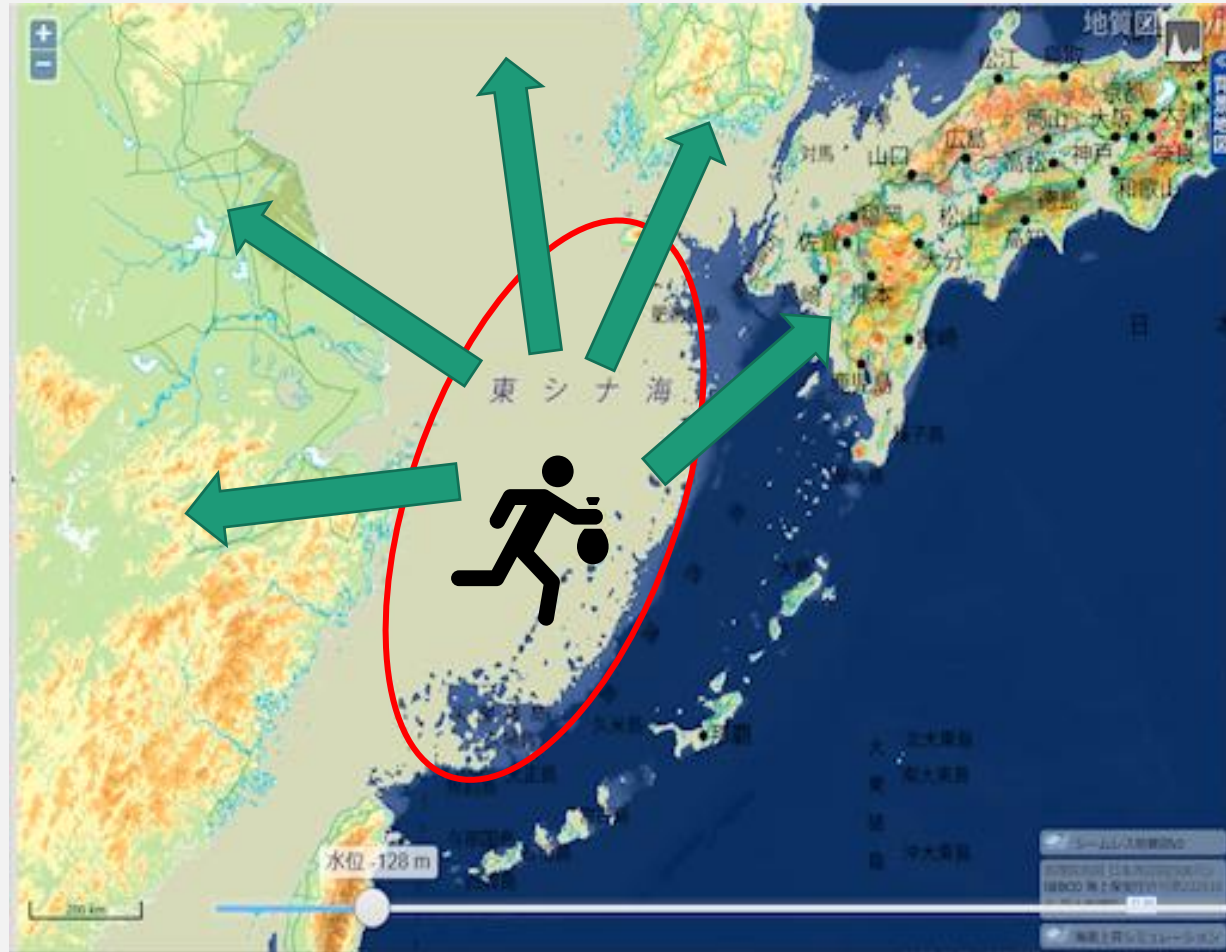
海水面上昇

2～3千年タイムラグ

生活の根拠がなくなる

避難先

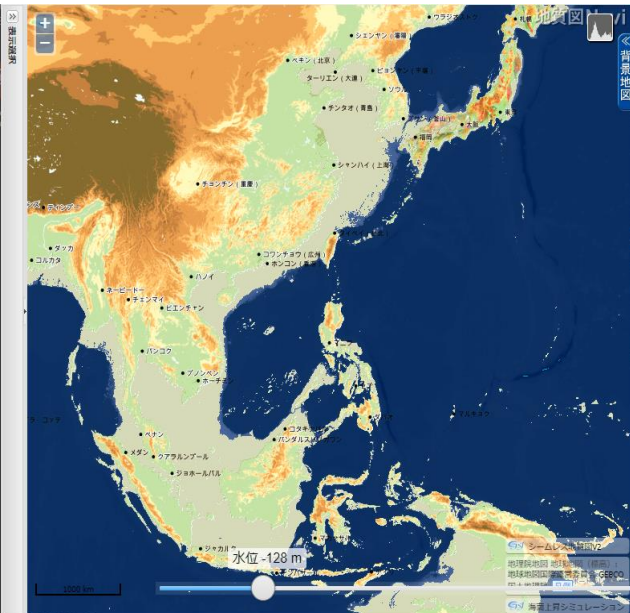
1. 九州
2. 朝鮮半島
3. 遼河流域・中原
4. 山東半島根元
(黄河・淮河流域)
5. 長江流域



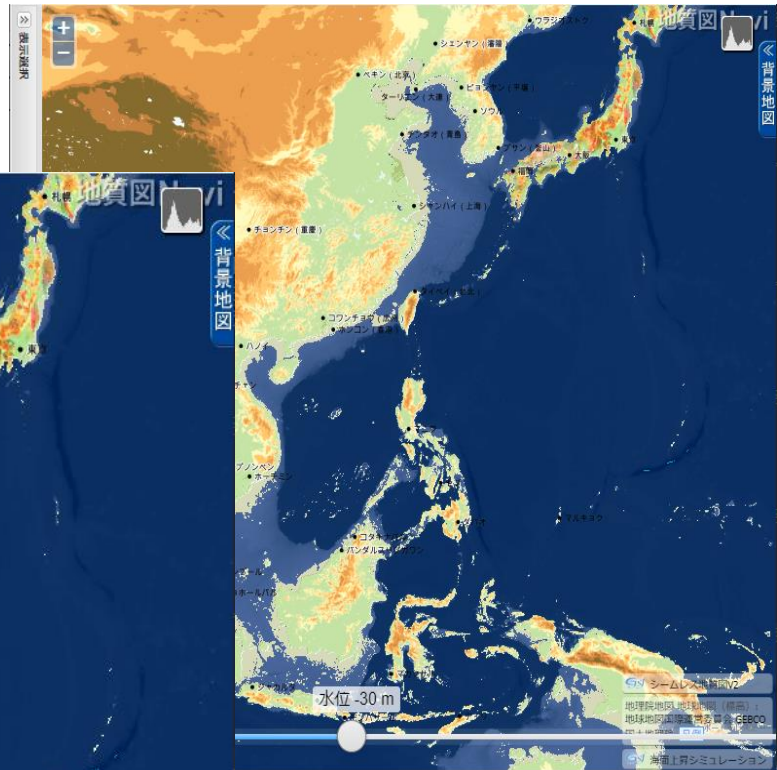
産総研「地質図 Navi」にて作成した海水面上昇 - 128 m の東シナ海地図を加工

※歩くよりも舟を漕いだ方が楽だったのではないかな？

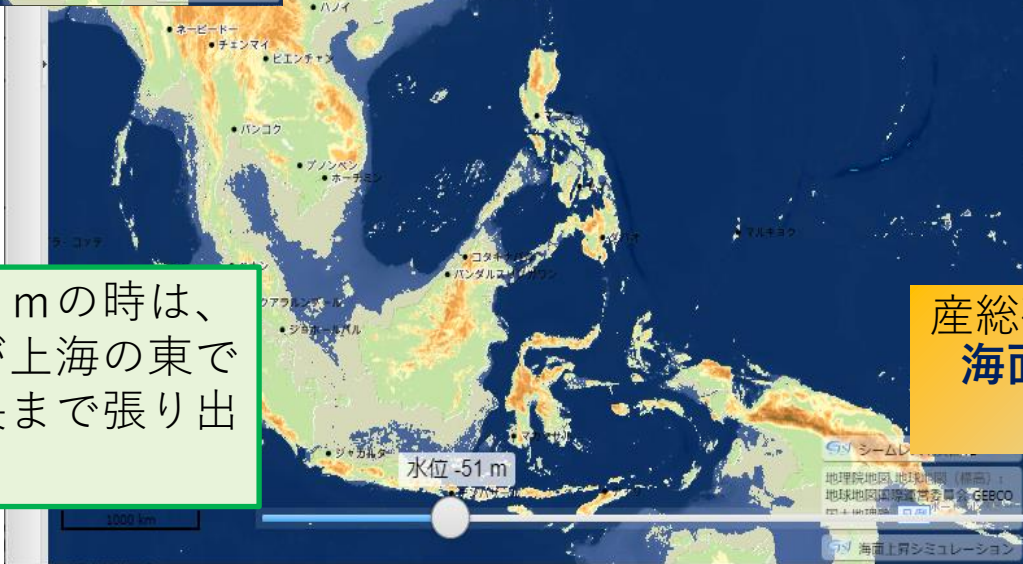
最終氷期終了に伴う海面上昇



↓ - 5 1 m



↑ - 1 2 8 m



↑ - 3 0 m

海水位が - 5 1 m の時は、
まだ中国大陸が上海の東で
東シナ海の中央まで張り出
している。

産総研「地質図 Navi」
海面上昇シミュレーション
にて作成

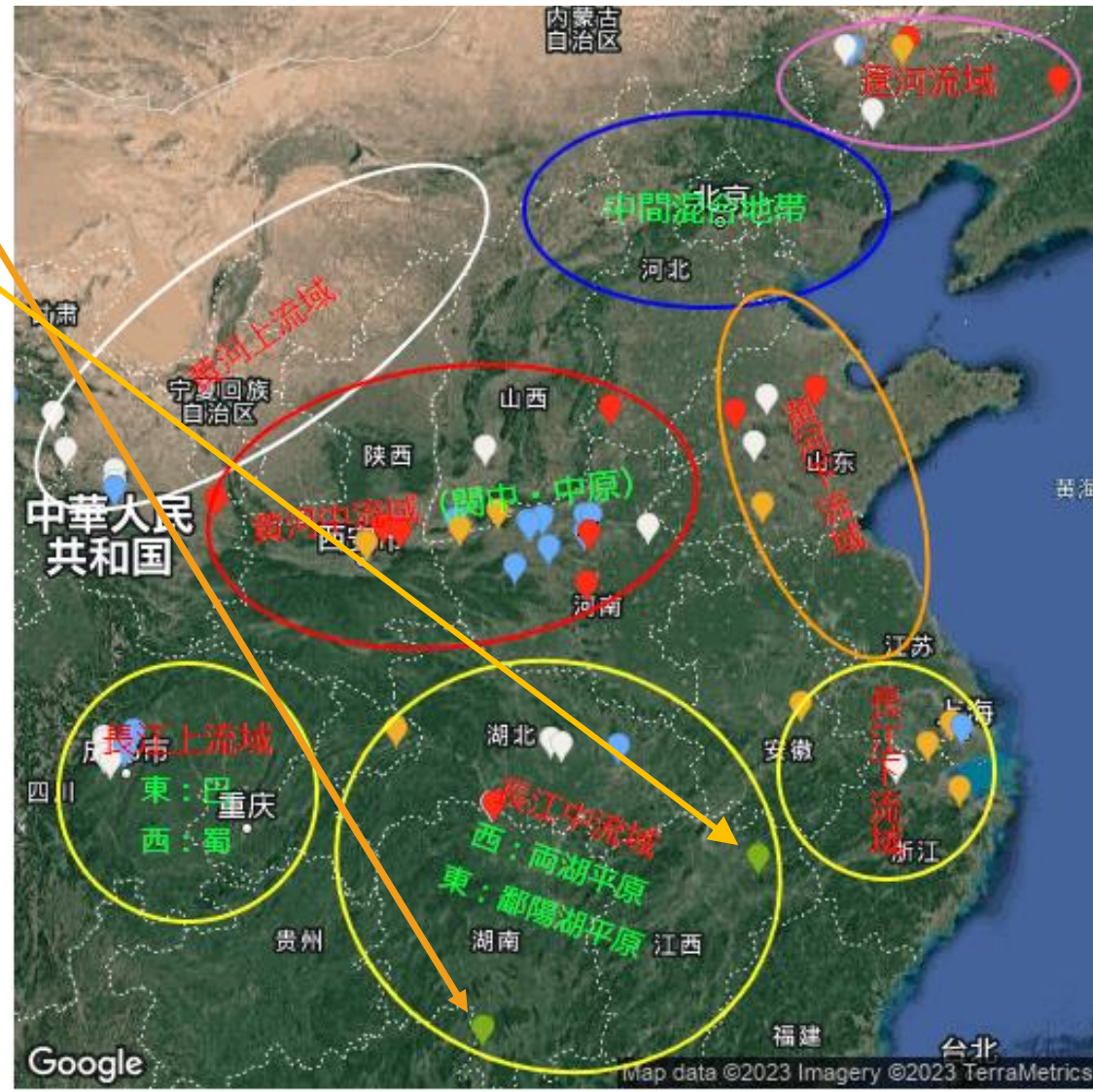
避難先としての長江流域・黄河流域

中国の新石器時代遺跡として最も古いのは、長江中流域の**玉蟾岩遺跡**や**仙人頭遺跡・吊桶環遺跡**であり、約14,000年前のものである。

その後、黄河流域や遼河流域を中心に赤（10,000～7,000年前）の遺跡が増える。

続く7,000～5,000年前（黄）は長江下流域と黄河中流域西部が隆盛する。湖南省のあたりは暑すぎて、人々は涼しい海風を求めたのかも知れない。或いは湖が拡大したのかも知れない。

- | | | |
|----|-----|-------------------|
| 凡例 | 緑=1 | ： 16,000～10,000年前 |
| | 赤=2 | ： 10,000～7,000年前 |
| | 黄=3 | ： 7,000～5,000年前 |
| | 白=4 | ： 5,000～4,000年前 |
| | 青=5 | ： 4,000～3,100年前 |



Google Maps Static API と HTML/CSS で作成

黄河中流域と長江下流域の先史遺跡分布

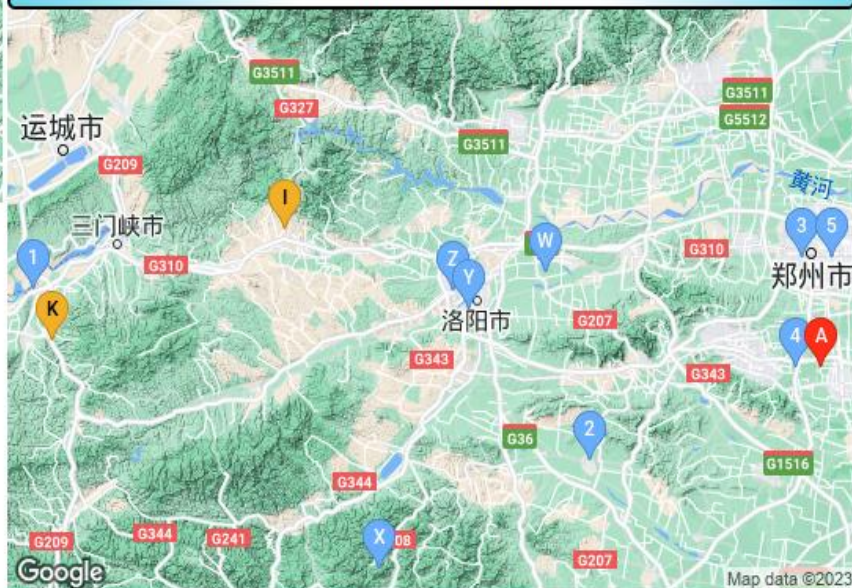
黄河中流域



私のサイト「中国の先史遺跡分布」のページより
https://fengxian-urawa.com/ancient/prehistoric_sites_in_china.html

- ※ 個々の遺跡の名称、緯度・経度、地名は上記ページ参照。
- ※ Google Maps Static API を利用して作成。

▼ 黄河中流域中心部を拡大

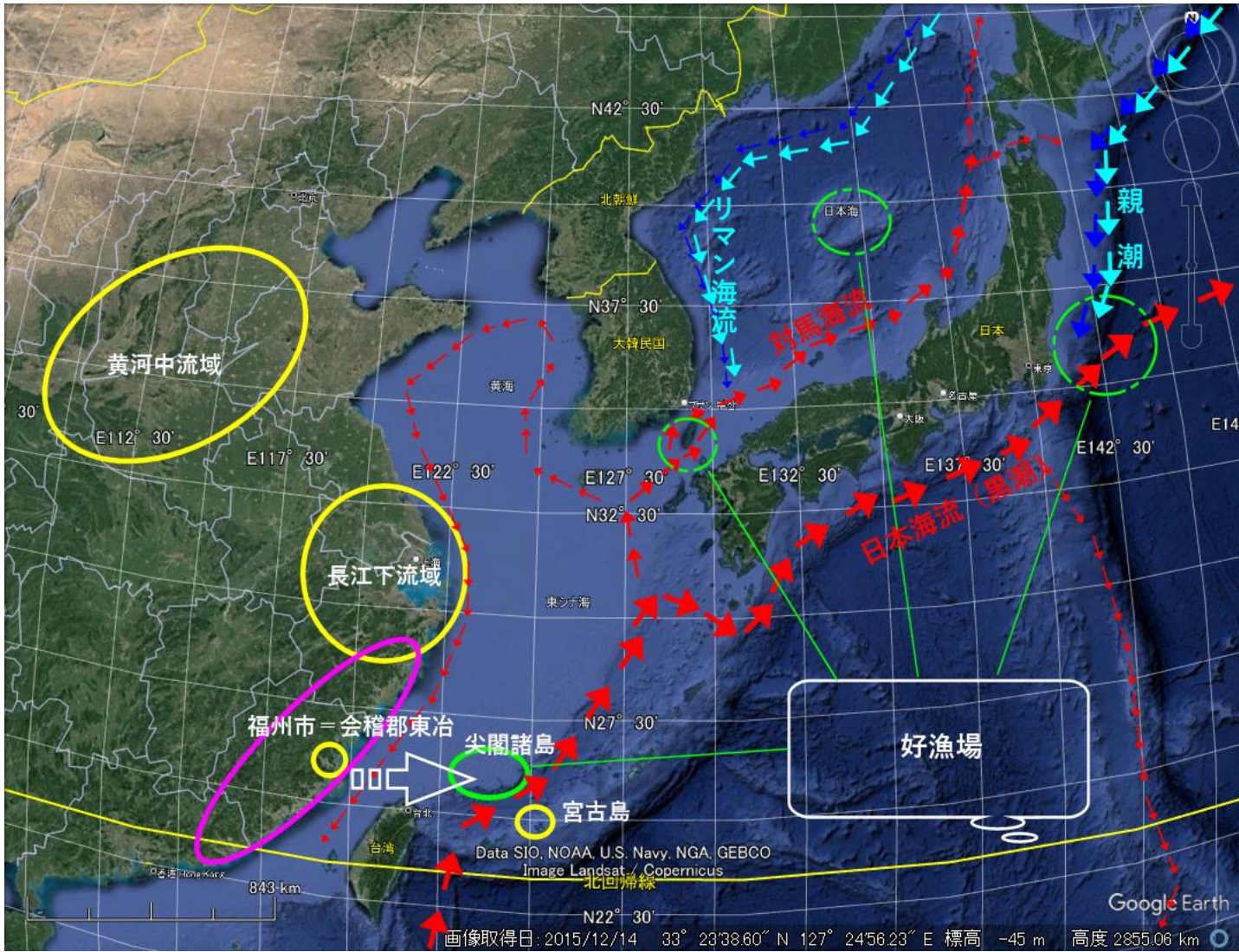


長江下流域



日本と周囲の海流

日本の近海には、暖流の黒潮と対馬海流、寒流の親潮とリマン海流が流れる。



鬼界カルデラ大爆発の影響

九州の火山は大爆発により直径20kmものカルデラを形成する傾向がある。

阿蘇カルデラ：約9万年前

始良カルデラ：約3万年前

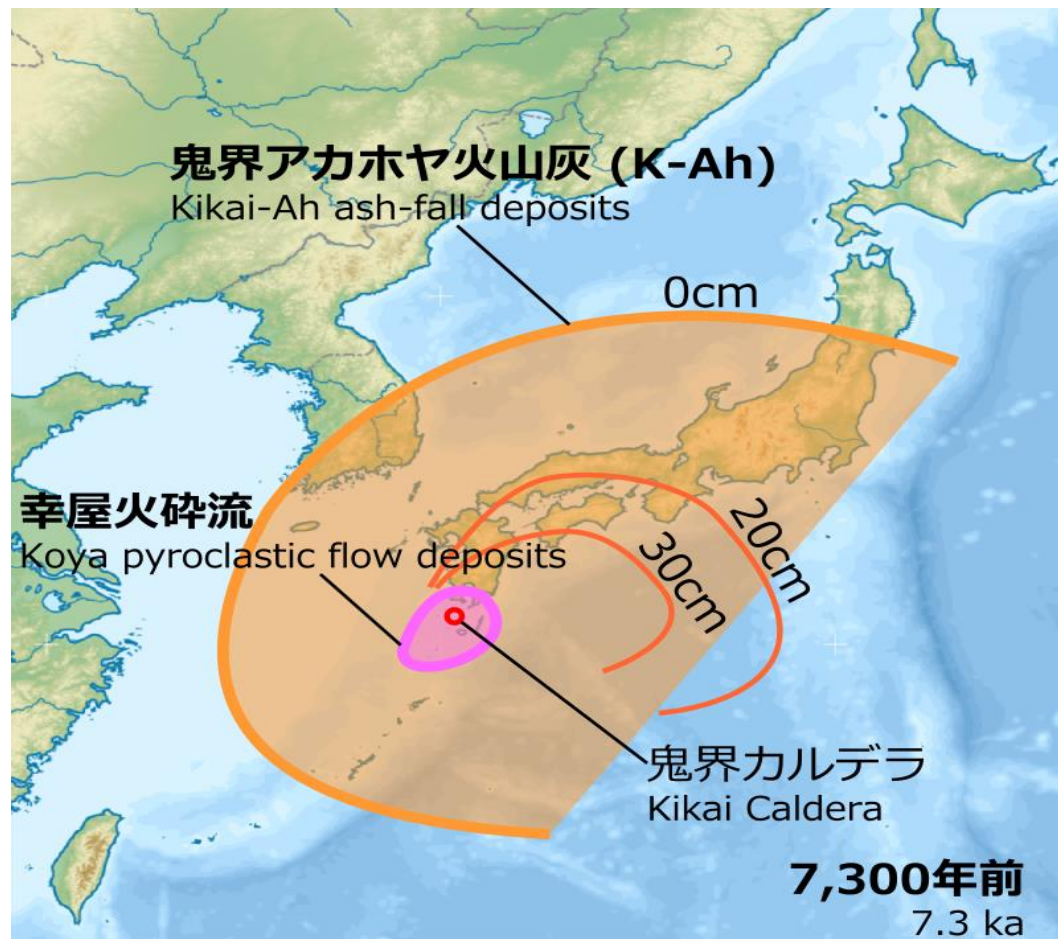
鬼界カルデラ：約7300年前

東シナ海平原の水没から日本列島に逃れ、縄文人となった人々にとって破滅的試練である。

九州南端では全滅、西日本の大部分でも植生や動物相が破壊されてしばらく居住困難、1000km離れた関東地方にも影響が出たであろう。

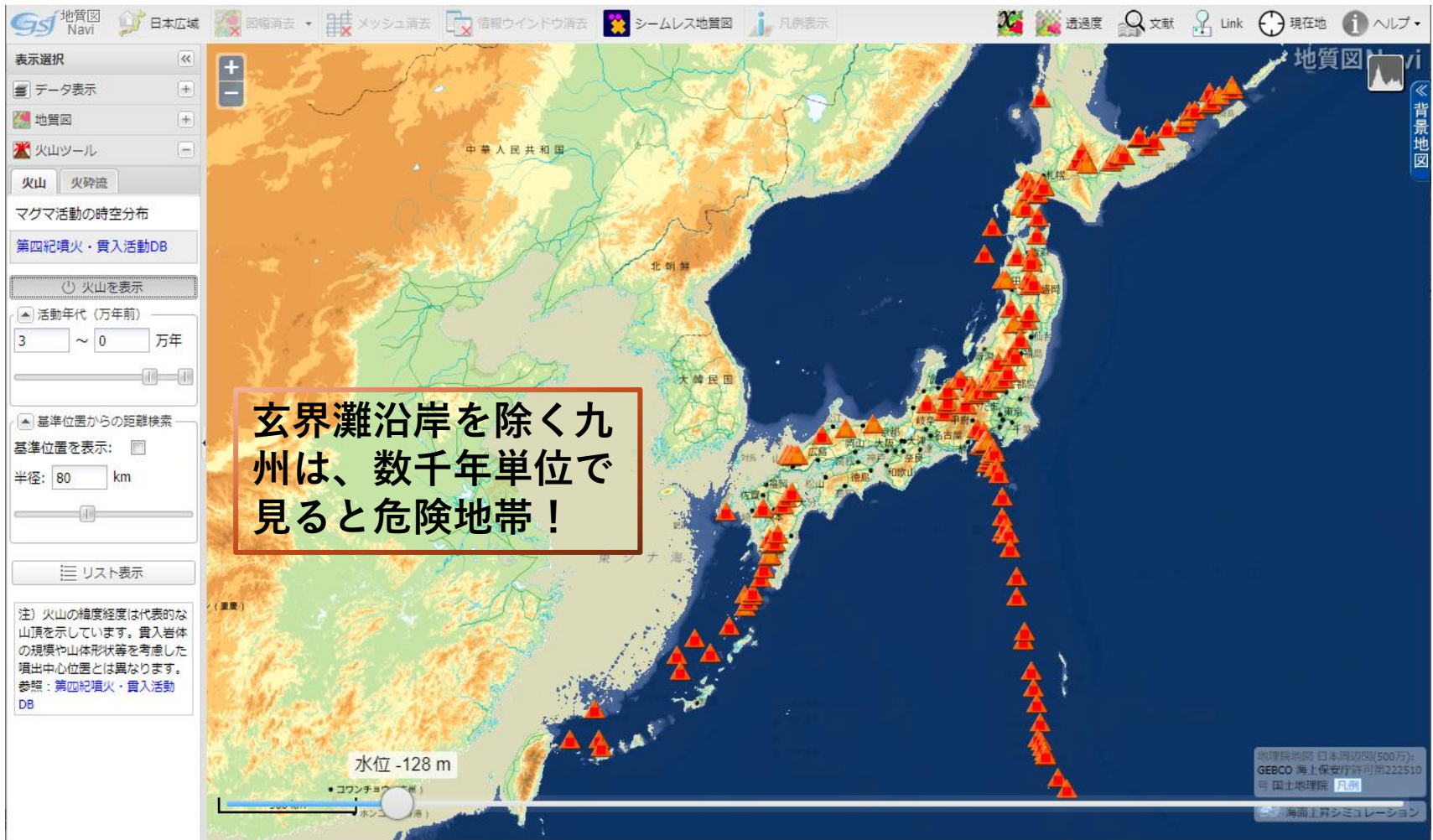
小山教授による縄文中期の人口推計で西日本の人口が極端に少ない原因となったのではないだろうか？

更には世界的な小氷期の原因になったかも知れない。



日本周辺における鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah) 広域テフラ分布の地図、7.3ka(7300年前)。

過去3万年に活動した火山



※地質図 Navi の「海面上昇シミュレーション」と「火山ツール」を組み合わせで作成。

※沖縄トラフや伊豆小笠原諸島には海底火山が多い。

小山修三教授による先史時代の人口・人口密度推計

東海、近畿、中国、四国、九州の人口は縄文時代一貫して低いレベル。

※国立民族学博物館研究報告 9巻1号より 着色は野口

表2 a 先史時代の人口と人口密度

	早期	前期	中期	後期	晩期	弥生	土師
東北	2000 (0.03)	19200 (0.29)	46700 (0.70)	43800 (0.65)	39500 (0.59)	33400 (0.50)	288600 (4.31)
関東	9700 (0.30)	42800 (1.34)	95400 (2.98)	51600 (1.61)	7700 (0.24)	99000 (3.09)	943300 (29.48)
北陸	400 (0.02)	4200 (0.17)	24600 (0.98)	15700 (0.63)	5100 (0.20)	20700 (0.83)	491800 (19.67)
中部	3000 (0.10)	25300 (0.84)	71900 (2.40)	22000 (0.73)	6000 (0.20)	84200 (2.81)	289700 (9.66)
東海	2200 (0.16)	5000 (0.36)	13200 (0.94)	7600 (0.54)	6600 (0.47)	55300 (3.95)	298700 (21.34)
近畿	300 (0.01)	1700 (0.05)	2800 (0.09)	4400 (0.14)	2100 (0.07)	108300 (3.38)	1217300 (38.04)
中国	400 (0.01)	1300 (0.04)	1200 (0.04)	2400 (0.07)	2000 (0.06)	58800 (1.84)	839400 (26.23)
四国	200 (0.01)	400 (0.02)	200 (0.01)	2700 (0.14)	500 (0.03)	30100 (1.58)	320600 (16.87)
九州	1900 (0.05)	5600 (0.13)	5300 (0.13)	10100 (0.24)	6300 (0.15)	105100 (2.50)	710400 (16.91)
全国	20100 (0.07)	105500 (0.36)	261300 (0.89)	160300 (0.55)	75800 (0.26)	594900 (2.03)	5399800 (18.43)

註) ()内は人口密度。

[KOYAMA 1978: 56] に訂正を加えた。

日本と中国の時代対照(縄文～古墳時代)

長江(Changjiang)流域 中国 黄河(Huanghe)流域

C1 玉蟾岩文化

H1 なし

C2 彭頭山文化

H2 裴李崗文化/磁山文化/
老官台文化/後李文化

C3 大溪文化/河姆渡文化/
馬家浜文化/崧沢文化

H3 仰韶文化/北辛文化

C4 屈家嶺文化/石家河文化/
良渚文化/宝墩文化

H4 龍山文化/大汶口文化/
馬家窯文化/齊家文化

C5 馬橋文化/三星堆文化/
十二橋金沙文化

H5 二里頭文化(夏?)/二里岡文
化(商=殷?)/西周/春秋/戦国

秦/前漢/新/後漢

三国(魏/呉/蜀)時代/晋/十六国

日本

草創期 17000～11500年前

早期 11500～7000年前

前期 7000～5500年前

中期 5500～4400年前

後期 4400～3200年前

晩期 3200～2400年前 (関東・東北)

縄文時代

弥生時代

古墳時代

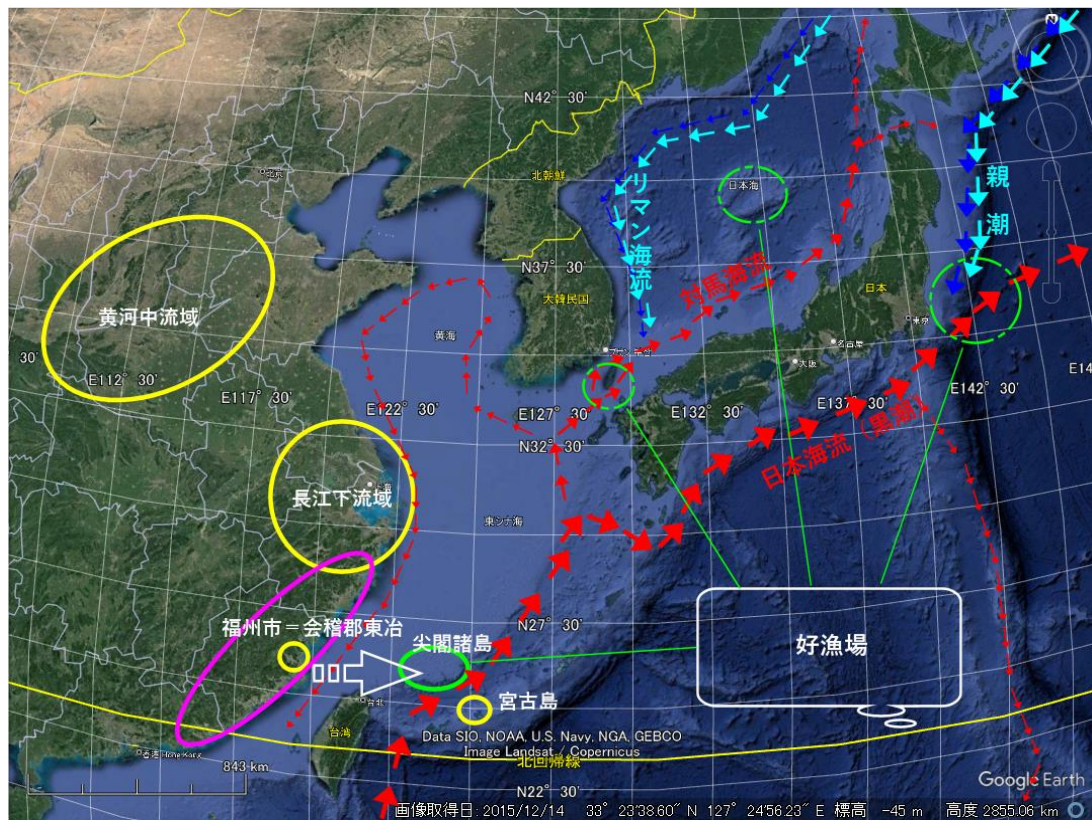
※境界年代は佐々木 (2020) による。¹⁵

縄文系渡来人？

西日本は、縄文時代を通じて東日本に比べて一貫して人口がはるかに少ない。

しかし、弥生時代になると逆転する。

- 雑穀（稗・粟・黍・小麦）の栽培はどこから伝わったか？
- 6000年前の岡山県の遺跡からコメのプラントオパール発見。熱帯ジャポニカ？
- **長江中流域では1万年前から稲栽培。**
- 中国で小麦栽培が広まったのは商王朝（約3700年前～3050年前）から。
- 夏王朝では雑穀（稗・粟・黍）と豆類の栽培の他、牧畜も行われた。
- 黄河文明は、長江文明の分家が北東の遼河流域、西方の黄河上流の牧畜文化と融合したもの。やがて本家の長江文明よりも軍事的に優位に立った。
- 三苗やチベットの羌族の故郷は中原。
- オーストロネシア語族の故郷は、台湾・中国南部。なぜ東南アジアや太平洋に進出したか？ 日本には？



1万年前の東シナ海平原・黄海平原では食用植物の栽培が行われていなかったのか？

漁民はいつ、どこで誕生したのか？

魏志倭人伝の記述

書かれています

- 倭と魏の関係
- 邪馬台国までの行程
- 倭国の様子
 - 越人のように入れ墨して大魚や水鳥の危害を避ける。
 - 貫頭衣を着用。
 - 稲・いちび・紵麻（からむし）を栽培。養蚕。
 - 牛・馬・虎・豹・羊・鵠なし = 黄河流域以北の動物がない。
 - 弓は上部が長く、下部が短い。
 - 温暖で冬も夏も生野菜を食べ、みな裸足。
 - 風俗・習慣・産物等は儋耳・朱崖と同じ。
- 政治情勢・倭国大乱

書かれていないこと

倭人の言語が具体的にどうであったか？ 個人名や役職名はあるが.....。

コミュニケーションに困ったという記述はない。

今使譯所通三十國¹⁷

日本語の特徴

- **膠着語***

助詞「てにをは」で格を表現

- **語順は SOV***

S=subject (主語)、O=object (目的語)、V=verb (動詞)

- **中国語から大量の借用語**

学研「新漢和大字典」には親字2万、熟語12万収録

- **3種の文字** (漢字、ひらがな、カタカナ)

→世界で最も習得困難な言語のひとつ

- **5母音体系** (a/e/i/o/u)

ラテン語、スペイン語と同じ5つ。ハワイ語は3母音ともっと少ない。

- **開音節の言語**

音節が母音で終わる

- **声調言語**

高低アクセント ⇔ 強弱アクセント (欧米の言語)

- **かつて 8母音体系* だった**

万葉仮名の甲類、乙類 → 平安時代には区別消失。なぜ消失したのか？

日本語の同系言語を求めて

*印はアルタイ語族の特徴でもあるため、一時はアルタイ語族に属すると考えられた。

しかし、

語彙がまるで異なるので、現在は否定されている。

他

の

候

補

☀ 琉球語

語彙、文法、音韻、類型の4つとも類似し、同系関係が認められる。

☛ 韓国語

文法的な類似性が非常に高いが、語彙の類似はごく一部に留まる。

☂ アイヌ語

抱合語であり、閉音節である。一部語彙の類似は借用によると見られる。

☛ オーストロネシア語（南島語）

文法・形態は日本語と異なるが、音韻については発音体系が比較的単純で開音節であるなど日本語と似ており、基礎語彙についても一部類似性が指摘されている。

☂ レプチャ語

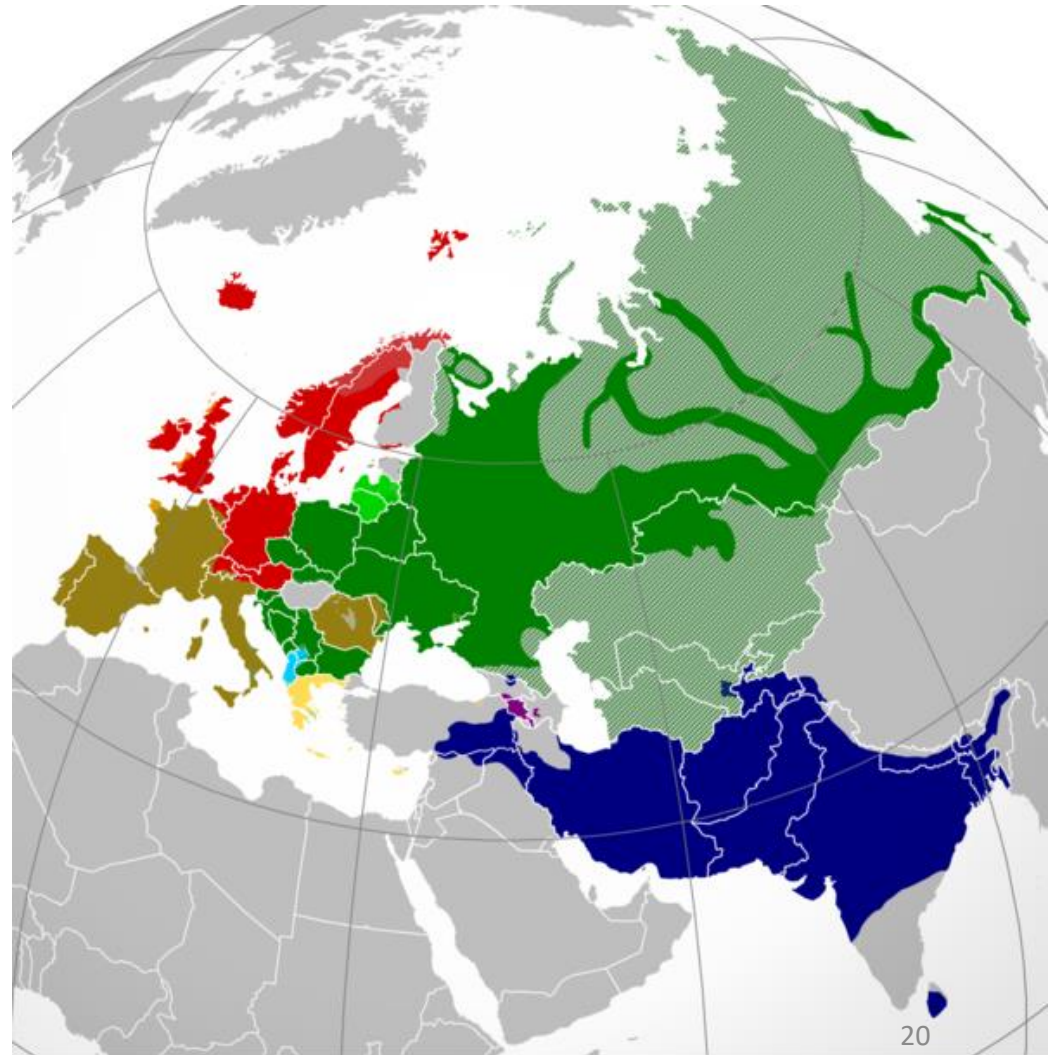
安田徳太郎氏が唱えたが、ゴロ合わせに過ぎないと批判されている。

☛ タミル語

ドラヴィダ語族の最も有力な言語である。大野晋教授が提唱し、熱狂的な賛同者もいるが、反対論も強い。

インド・ヨーロッパ語族

現代のユーラシア大陸における
インド・ヨーロッパ語族の分布

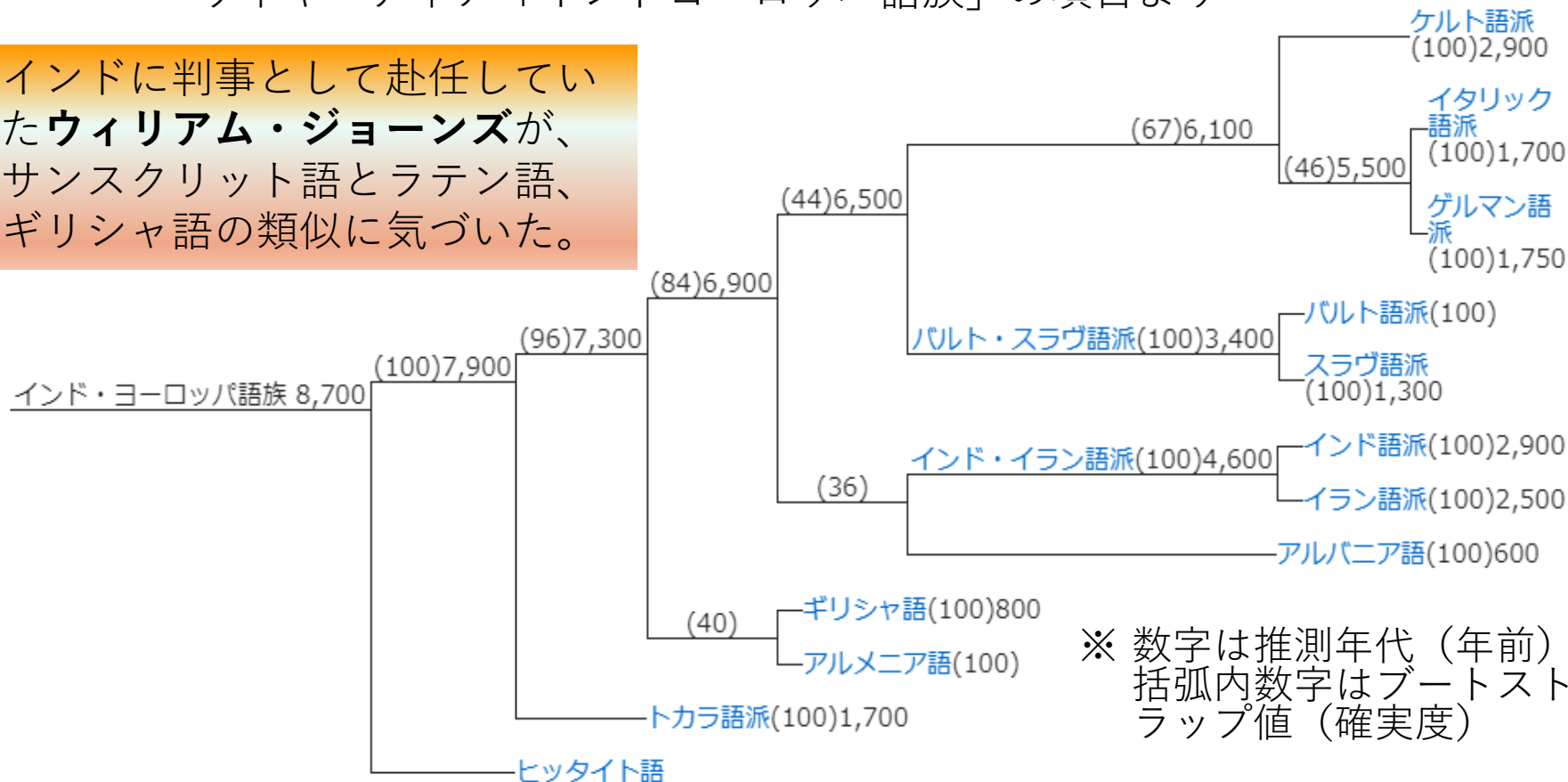


ウィキペディア「インドヨーロッパ語族」の項目より
画像作成者：[Hayden120氏](#)

インドヨーロッパ語族各語派の分岐年代

ウィキペディア「インドヨーロッパ語族」の項目より

インドに判事として赴任していた**ウィリアム・ジョーンズ**が、サンスクリット語とラテン語、ギリシャ語の類似に気づいた。



比較する2言語の時間的距離が1万年を越えると、同系関係を検出しにくい。また、文字資料が残っていない。

同系関係の証明

語彙

特に基礎語彙が重要（100語、207語）

→ スワデシュ 基礎語彙表による語頭音のコンピュータ処理 安本美典氏も採用

文法

語順（syntax = 統語法：SVO、SOV等）

数（単数、複数、双数）

性（gender：男性、女性、中性、通性）

格（主格、対格、属格、与格、具格、奪格、処格、呼格）

印欧祖語はSOV語順
だった！

音韻

音韻体系（閉音節か開音節か）

centum語とサテム satem語.....百を表す単語の語頭音による分類

グリムの法則

ヴェルナーの法則 } グリムの法則を補う
グラスマンの法則 }

グリムの法則

印欧祖語からゲルマン祖語への分化の過程で起きた音韻変化の法則

類型

屈折語...ラテン語など印欧語族に多い

膠着語...アルタイ諸語など。日本語も膠着語

抱合語...アイヌ語など

孤立語...中国語など

グリムの法則

1. 有声破裂音+帯気音から有声破裂音へ

b^h → b

- Bruder [独], brother [英] (ラテン語ではfrater)
- Boden [独], bottom [英] (ラテン語ではfundus)

d^h → d

- Tür [独], door [英] (ギリシャ語ではthyra)
- Tochter [独], daughter [英] (ギリシャ語ではthygater)

g^h → g

- Gast [独], guest [英] (ラテン語ではhostis)

2. 有声破裂音から無声破裂音へ

b → p

d → z/ts/ - t

g → k (c)

3. 無声破裂音から無声摩擦音 (帯気音) へ

p → f

t → θ

k → x → h

ウィキペディア

「**グリムの法則**」の項目より

グリム童話で有名なグリム兄弟の長兄ヤーコブ・グリムが体系化した。

現代の中国語方言分布

現代の中国語は、東北地方（旧満州）から南西の雲南にかけて広く標準語に近い北方語が広がり、長江流域よりも南の南東部にいくつもの有力方言が分布する。

しかし、東北地方や内モンゴル自治区、青海省、チベット自治区、新疆ウイグル自治区、貴州省、雲南省、広東省、広西壮族自治区は本来の領域ではない。

ウィキペディア「中国語」の項目より

作成者：
[Takasugi Shinji](#) - 投稿者
自身による著作物

シナ・チベット語族

1. シナ語派

- a. シナ語系
- b. タイ・ガダイ語系
- c. ミャオ・ヤオ語系

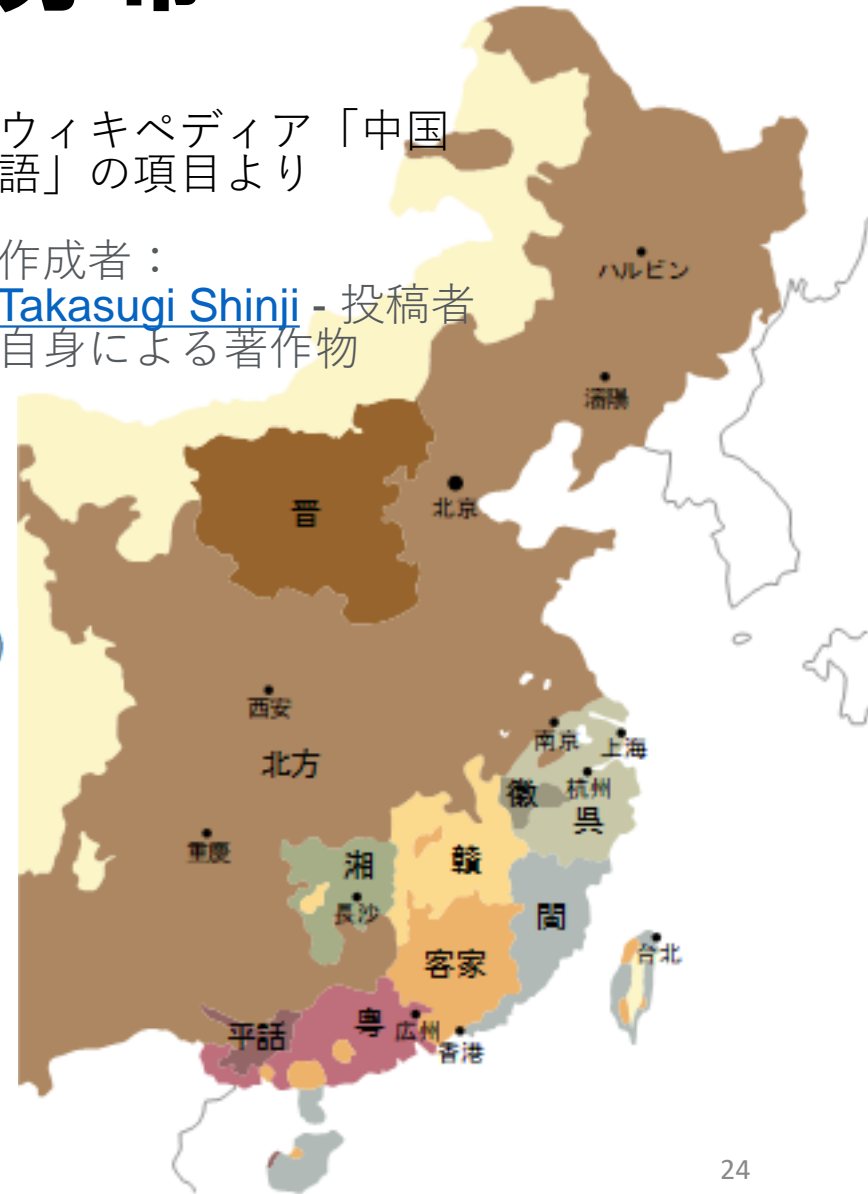
2. チベット・ビルマ語派

- a. チベット語系
- b. ビルマ語系

現在
は
否定

シナ語派 (Sinitic)

■ 北方	8億3600万
■ 呉	7700万
■ 粵	7100万
■ 閩	6000万
■ 晋	4500万
■ 湘	3600万
■ 客家	3400万
■ 贛	3100万
■ 徽	320万
■ 平話	200万



中国語の領域としての聖山の分布

- E : 泰山(Tàishān)
- S : 衡山(Héngshān)
- C : 嵩山(Sōngshān)
- W : 華山(Huáshān)
- N : 恒山(Héngshān)

五岳

- G : 沂山(Yíshān)
- U : 呉山(Wúshān)
- K : 霍山(Huòshān)
- H : 会稽山(Huìjīshān)
- I : 医巫閭山(Yīwūlúshān)

五鎮

- F : 五台山(Wǔtáishān)
- O : 峨眉山(Éméishān)
- Y : 黄山(Huángshān)
- Q : 岐山(Qíshān)

その他

- T : 涿鹿(Zhuōlù)
- B : 阪泉(Bǎnquán)

古戦場



現代中国語の特徴と歴史

- ◆ 語順が SVO
- ◆ 類型として孤立語（格による語形変化がない。膠着語的になりつつある）
- ◆ 時制がない（助詞・副詞句で表現）
- ◆ 声調言語である（四声 + 轻声）
 - 陰平声（第1声） - 媽（mā; お母さん） - 高く平ら。
 - 陽平声（第2声） - 麻（má; 麻） - 上がり調子。
 - 上声（第3声） - 馬（mǎ; 馬） - 低く抑える。
 - 去声（第4声） - 罵（mà; 罵る） - 急激に下がる。
 - 轻声 - 嗎（ma; 疑問の語気助詞） - 抑揚はなく、高さは前の声調により変わる。
- ◆ 開音節（n/ngを除いて母音で終わる） ← 母音体系では「e」がなく「ə」がある。
- ◆ 修飾語が被修飾語の前にある
- ◆ 表意文字である漢字を使用

上古漢語（上古音）

紀元前15世紀頃（商代）～3世紀頃（後漢） 伝説によると文字（漢字）は黄帝の史官蒼頡（そうけつ）が作ったという。

中古漢語（中古音）

4世紀頃～宋代
代表は都の長安（西安）で話された隋唐音。遣隋使・遣唐使は隋唐音を学んで帰国→漢音。

近代漢語（古官話）

元代、明代、清代。北京音が広まった。 **開音節化**

現代漢語

日清戦争以後
欧米言語の影響
和製漢語の大量流入

中古音を音読み（呉音・漢音）で表記

- 帯気音（有気音）/無気音 → 清音/濁音
- 複数子音の同一視 例：s、ts、tʃ → さ行
- 重母音 → 単母音
- 語尾に母音「i」「u」の付加 例：日 niět(riět)
- -n/-ng → う 例：東 tunj（拼音で dōng）
- -en → えい 例：庭 denj（拼音で tíng/tìng）
- h → か行 例：呼 ho（拼音で hū）
- ŋ → が行 例：月 ŋiuaŋ（拼音で yuè）
- p → は行（語尾の場合は「ふ」） 例：卑 piě（拼音で bēi/bǐ）
- h（かぎ付の h） → わ行、が行、か行、は行 例：為 hiuaě（拼音で wéi/wèi）

漢字の読み方

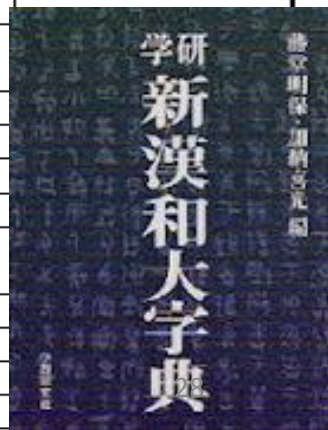
- 訓読み
- 人名読み
- 慣用読み
- 呉音 ← 隋唐音以前
- 漢音 ← 隋唐音
- 唐音（宋音・唐宋音）
- 中国語読み借用語
↑（拼音 = 中国式アルファベット表記）

平安時代初めまで「ん」という文字がなかった！ ← 山口謠司「ん」（新潮新書）

日中韓漢字音比較

「日中韓漢字音比較20230112.pdf」参照

	漢字	呉音	漢音	慣用音	拼音	上古音	中古音	韓国音	備考
1	蒂	タイ	タイ		dài	tad	tai		
2	方	ハウ	ハウ		fāng	pi aŋ	pi aŋ		
3	郡	グン	クン		jùn	giuən	giuən		
4	狗	ク	コウ		gǒu	kug	kəu		
5	邪	ジャ	シャ	ヤ	xié	ŋiǎŋ/(yǐǎ)	ziǎ		疑問の助詞「や」
6	韓	ガン	カン		hán	fi an	fi an	ハン	
7	国	コク	コク		guó	kuək	kuək	グク	クニ
8	对	ツイ	タイ		duì	tuəd	tuəi		
9	海	カイ	カイ		hǎi	məŋ	həi	へ(hae)	「m」の下に「.」(マル)
10	馬	マ/メ	バ		mǎ	mǎŋ	mǎ(mbǎ)	マ	ウマ
11	一/巷	イチ	イツ		yī	iet	iēt		中世音 iei
12	大	ダイ	タイ		dà	dad/dar	dai/da	デ(dae)	
13	岐	ギ	キ		qí	gieŋ	giē		
14	末	マツ	バツ		mò	muat	muat(mbua t)		
15	盧	ル	ロ		lú	hlag/(hlo)	lo	ノ	
16	伊	イ	イ		yī	iər	ii	イ	「ə」の上に「~」
17	都	ツ	ト		dū/dōu	tag	to		
18	奴	ヌ	ド	ナ	nú	nag	no(ndo)		
19	不	フ	フ	フ/ブ	bù/fǒu	piəut/piəuŋ	piəut/piəu		
20	弥	ミ	ビ		mí	miər	miē(mbiē)		
21	蘇	ソ	ソ		sū	sag	so		
22	好	カウ	カウ		hào	hog	hau		
23	古	コ	コ		gǔ	kag	ko		
24	台/臺	ダイ	タイ		tái	dəŋ/təŋ/diəŋ	dəi/təi/yiei	テ	
25	投	ツ	トウ		tóu	dug	dəu		
26	鬼	キ	キ		guǐ	kiuər	kiuəi		
27	華	ケ/ゲ	クワ		huá/hua	fiuǎŋ	fiuǎ	ファ	
28	呼	コ	コ		hū	hag	ho		



上古音から中古音へ①

- ◆ 秦・漢帝国までは上古音が使われていた。
- ◆ 隋・唐代には中古音（中古音の代表である「隋唐音」）に変わっていた。
- ◆ いつ移行が始まったのか？

司馬氏の晋（西晋）が倒れ、一部皇族が江南に移って東晋を開いた。黄河流域は五胡（匈奴・鮮卑・羯・氐・羌）と漢族が次々と王朝を築いたが、いずれも短命に終わった。

300年間にわたる分裂を收拾したのは高祖楊堅（文帝）であるが、2代煬帝の失政で李淵に乗っ取られ、唐王朝が始まった。

楊堅も李淵も北部や西部の軍閥出身。配下には異民族も多く、両王朝とも純粋な漢民族王朝とは言い難い。それどころか王族自体に鮮卑族の血がかなり混じっていたかも知れない。隋唐音はそのような環境の下で首都長安を中心に生まれた。

邪馬台国問題研究者にとって問題となるのは、魏・呉・蜀の三国時代に既に中古音が黄河流域で始まっていたかどうかである。安本美典氏は、倭国に来た魏の使節は中古音を使っていたが、倭の諸国の名はまだ上古音表記のものもあったという見解。

野口：中古音が始まったのは五胡十六国時代からではないか？



異民族支配が影響？

上古音から中古音へ②

◆ 上古音 /-ag/ → 中古音 /-o/ → /-wu(u) | -e/

- 烏 = ア、オ (ag) → wu (烏海 wuhai)
- 鶴 = カク = つる (hag) → hu → he (鶴壁 hebi)
- 悪 = アク (ag) → -e (憎悪)
- 呉 = (ŋag) → /ŋo/ → /wu/

◆ /ki/ → /zhi/qi/ji/ (シ/ジ)

中古音ではわたり音として /i/ が声母と韻母の間に挟まった結果、ki/gi → qi/zhi になった。

- シ：支(zhi)、枝(zhi)、肢(zhi)
- キ：岐(qi)、伎(ji)
- ギ：技(ji)

安本美典氏が魏志倭人伝の人名・国名の読み方を考察する際に使用

古代漢語(前15世紀～後3世紀)の特徴

※ウィキペディア「中国語」の項目による。

漢字の原形とされる[甲骨文字](#) (1899年に発見) が使われており、簡単な文章が記録されている。

- 声母 (頭子音) に複子音 sl-, pl-, kl- (例: 「監」 *klam) などが存在した。
- 韻母の尾子音は豊富だった (例: 「二」 *gnis) 。
- 語順はタイ語的なSVO型だった。(例: 吳 敗 越 於夫椒 「吳は夫椒で越を破った。」 S-V-O-Adv ⇔ 現代語: 吳軍 在夫椒 把越軍 打敗了。 Or 吳軍 在夫椒 打敗了 越軍 S-Adv-O-V)
- 文法的に重要な役割を果たしていた[接辞](#)や[不変化詞](#)による[修飾語](#)の形成があったが、後期になると衰え始めた。
- 代名詞に**格**があった。今でも一部が[客家語](#)や[湘語](#)に残っている。
- 戦国時代の楚や秦の言語は[楚文字](#)と呼ばれる[字体](#)の漢字で[竹簡](#)などに記録され、[包山楚簡](#)、[里耶秦簡](#)などが発見されている。

上古音以前の中国語

※ウィキペディア「反切」の項目による。

反切による古音の推定

漢字の発音を示す伝統的な方法のひとつ。2つの漢字を用い、一方の**声母**と、他方の**韻母**および**声調**を組み合わせ、その漢字の音を表す。

例：唐、徒郎反。

1. 「徒」の『切韻』時代の音は /do/（平声）なので、頭子音は /d-/
2. 「郎」の『切韻』時代の音は /lan/（平声）なので、頭子音を除くと /-an/（平声）
3. したがって、両者を組み合わせた /dan/（平声）が「唐」の発音になる。

反切の限界

- ある韻に字がひとつしかない場合は反切を作ることができない。
- 反切から正しい発音を得るには熟練が必要である。
- 古い時代の書籍の反切を使って音を得る場合には、反切がつけられた時代の音韻体系を知っている必要がある。（異なる時代の文字には適用できない。）
- 反切下字が唇音で始まるときに介母 /u/ があるかどうかについて曖昧さが発生する。

規則的音韻法則の限界

グリムの法則とヴェルナーの法則、グラスマンの法則のような規則的な音韻変化の法則は、言語・語派の同系関係を証明する強力な手段である。

しかし、そもそもどの言語・語派に同系関係がありそうかという仮説を提供しない。

そこで、無謀にも

日本語と中国語は同系である

という仮説を立ててみた。常識に反するが、仮説が正しい場合の成果も大きい。仮説を検証することが大事である。

飯野睦毅の中国語起源説

(ウィキペディア「日本語の起源」より)

中国語の上古音の語末尾に母音を付加することで、日本語語彙が成り立つとした。

- 「考える (かんがふ)」 ← 「勘合 [kəm həp]」
- 「拐 (かどわ) かす」 ← 「拐 (guad) ・ 惑 (huək)」
- 「怪 (あや) しむ」 ← 「妖 (iəu) ・ 審 (jim)」

漢語が日本語の動詞になる時、語尾が「p」の語は「ハ行」活用、「m」の語は「マ行」活用になった。

常識的反論

- 単純に少数の単語が偶然一致しているという意見が多い。
- 文法的に違う点が多い。



多くの学者から認められていない。

言語の類型、語順、語彙は変化する

- インド・ヨーロッパ祖語の語順は SOV であったと見られるが、現在のヨーロッパの言語は SVO が多い。
- 印欧祖語は屈折語であったが、現在印欧語族の言語は屈折が単純化している。著しいのが**英語**で、ほとんど屈折をなくし、膠着語に近づいている。

民族征服が起きると、屈折は単純化し、代わりに統語法 (syntax) を発達させて主語と目的語を区別するようになるのではないか？

イギリスの場合→

1. ケルト人のブリテン島進出
2. ローマ人による征服
3. アングロ＝サクソン人による征服
4. バイキングによる一部支配
5. ノルマンジー公ウィリアムによる征服

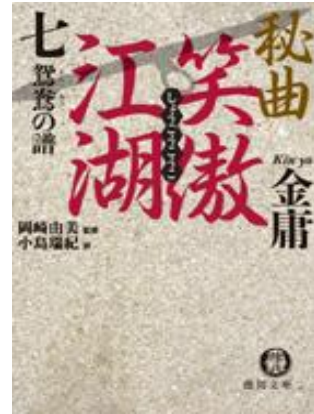
- ハンガリーのマジャール語はウラル語族に属するが、周囲のスラブ語の影響を受けている。ルーマニア語も、ラテン語に起源を持つにもかかわらず、スラブ語的になってきた。
- 対等な2つの言語が母国を離れて密接に接触するとき、クレオールやピジンが生まれる。
例：植民地時代のニューオーリークス
- 文化的・軍事的に優越する少数民族が、多数民族を支配するとき、上層言語が文法を支配する一方で、多数民族の言語が音韻構造に影響する。
例：フランス語 (ローマ人とガリア人)

疑念のきっかけ

• 鳥が鳴く広東語

金庸の中国武俠小説「秘曲 笑傲江湖」の映画化を見ていて、家内（春香＝中国人）が広東語を理解できなくて「鳥が鳴いている」と表現した。

広東語の「Yes」が日本語と同じ「hai = 係」⇔「shi = 是」



• 日本語古語の助詞「ゆ」

田子の浦ゆ うち出てみれば 真白にぞ

富士の高嶺に 雪は降りける 万葉集・山部赤人

語順は違うが中国語の介詞「于(yu)」 「由(you)」と意味 (from) が同じ。

• 「～そうだ」「～ようだ」の語源

• 天像是要下雪了 / 雪が降りそう。

• 像是有人敲门 / 誰かがノックをしているようだ。

助動詞「像」の拼音は「xiàng」、「-ng」→「う」の表記法則、中古音でのわたり音「i」の介在を考えれば、日本語の「～**そう**だ」と中国語の「像 = xiàng」は似すぎている。

助動詞「要 = yào」も日本語で「よう」である。

疑念は続く

• 「出来る」の語源

金庸の武侠小说「倚天屠龍記」の登場人物のひとり、主人公から名前を聞かれたときに「説不得(Shuo bu de)」と答え、主人公が、なぜ言えないのかと聞き返す場面がある。もちろん「得」に「できる」という意味があるからこのネタが成立する。

- **这个苹果吃得吗？** / このリンゴは食べられますか？
- **这个帽子小，你戴得，我戴不得** / この帽子は小さくて、君にはかぶれるが、僕にはかぶれない。
- **那个字看得清楚看不清楚** / あの字ははっきり見えるか見えないか。
- **这个面包你吃得了吗？** / それだけのパンを全部食べられますか？

「得」を2声で発音すると「できあがる」という意味の動詞になる。

- **饭得了** / ご飯ができた。
- **定做的衣服还没有做得** / あつらえた服がまだできあがらない。

✿ 「得」の上古音、中古音は「tək」であり、音読みとして「トク」になった。

※例文は電子辞書（カシオ XD-LP7300）搭載の小学館「中日辞典 第2版」より

助詞「奴(nag)」の末裔

安本美典氏は、魏志倭人伝の中で「奴」の字が使われている国名を2つに分類している。

1. 2回現れる「奴国」

2. 彌奴国、姐奴国、蘇奴国、華奴蘇奴国、鬼奴国、烏奴国、狗奴国

1.にある「奴国」の「奴」は上古音「nag」を利用して「ナ」と読まれた。2.の国名に含まれる「奴」は「の」という意味の助詞として使われている。現代中国語では「奴」は「nú」と読まれるが、音読みの漢音では「ド」である。

現代中国語で「の」という意味の助詞（介詞）は「的」であるが、「底」や「地」が使われる時代もあった。※上古音→中古音→中原音韻→近代音 | 拼音 の順

- 「奴」 : nag → no(ndo) → nu → nu | nú
- 「底」 : ter → tei → tiəi → ti | dǐ
- 「地」 : dieg → dii → ti → ti | dì
- 「的」 : tōk → tek → tiəi → ti | dì/dí/轻声 de

中国古典や文語で「の」の意味に使われるのは「之」である。

- 「之」 : tiəg → tʃei → tʃi → tʃi | zhi

ぴったりと一致するわけではないが時代によっては近い音。方言間の差異と言える程度。中国の民衆は近代まで文盲だったので、**混線が起きても不思議はない。**

漢字のMBW型、NJR型

★ MBW型（呉音＝マ行、漢音＝バ行、拼音＝/w-/）

漢字	隋唐音以前→呉音	隋唐音→漢音	拼音＝現代中国語
武	ム 武者	ブ 武士	wǔ
万	マン 万代	バン 万能	wàn
微	ミ 微塵	ビ 微細	wēi
物	モツ 貨物	ブツ 物体	wù
文	モン 縄文	文 文章	wén

★ NJR型（呉音＝ナ行、漢音＝ジャ行、拼音＝/r-/）

漢字	隋唐音以前→呉音	隋唐音→漢音	拼音＝現代中国語
日	ニチ 日常	ジツ 本日	rì
人	ニン 人数	ジン 人員	rén
然	ネン 天然	ゼン 自然	rán
汝	ニョ 如実	ジョ 躍如	rú
若	ニヤ(ク) 般若	ジャ(ク) 若干	ruò

◆ 年配の中国東北地方人は /r/ をうまく発音できない。

中国語の訓読み現象①

字形は似ていないが、似た意味で似た発音のグループが存在する。

※アルファベットは拼音、ただし声調は省略した。

- 仙(せん、xian)/聖(せい、xian)/神(しん、shen)
- 先(せん、jian)/前(ぜん、qian)/尖(せん、jian)
- 稔(ねん、nian)/年(ねん、nian)
- 選(せん、xuan)/撰(せん、zhuan)/薦(せん、jian)
- 様(よう、yang)/像(ぞう、xiang)/状(じょう、zhuang)/形(ぎょう、けい、xing)/相(そう、xiang)/容(よう、rong)
- 似(じ、shi/si)/仮(か、jia)
- 上(じょう、shang)/乗(じょう、cheng)/昇(しょう、sheng)/将(=率いる、しょう、jiang)
- 娘(じょう、niang)/嬢(じょう、niang)
- 剩(じょう、sheng)/冗(じょう、rong)
- 良(りょう、liang、「ら」)/亮(りょう、liang)/朗(ろう、lang)

中国語の訓読み現象②

※アルファベットは拼音、ただし声調は省略した。

- 於(お、う、yu、「お」)/于(yu)
- 卷(かん、juan)/旋(せん、xuan)
- 園(えん、yuan)/苑(えん、yuan)/院(いん、yuan)
- 悪(あく、お、e/wu)/汚(お、wu)
- 偉(い、wei)/威(い、wei)/巍(ぎ、wei)
- 違(い、wei)/異(い、yi)/偽(ぎ、wei)
- 也(や、yi)/亦(えき、やく、yi)/又(ゆう、う、you)
- 行(こう、ぎょう、あん、hang/heng/xing)/幹(かん、gan)※
「(仕事を)する」という意味
- 代(だい、たい、dai)/替(たい、ti)
- 剛(こう、ごう、gang)/堅(けん、jian)/健(けん、jian)/康(こう、kang)
- 喜(き、xi)/怡(い、yi)
- 見(けん、げん、jian)/看(かん、kan)/検(けん、jian)
- 郷(きょう、ごう、xiang)/県/縣(けん、xian)

上古音以前が大和言葉の語源になるケース

上古音以前

漢字 A (発音 A)

漢字 B (発音 B)

漢字 B (発音 B)

日本語

漢字 B (発音 A') + 語尾 → 大和言葉

漢字 B (発音 B') + 語尾 → 大和言葉

漢字 B (発音 B'') → 音読み (漢音)

中古音

温(ぬく)い ← 暖(nuan) → だん(nuo)

着(き)る ← 衣(iær ← *ɲiær/*ngiær) → い(yi)

駆(か)く ← 驅(k'iuŋ) → く(qu)

牧(まき) ← 牧(miuaək) → ぼく(mu)

通(とお)る ← 通(t'un) → つう(tong)

川(かわ) ← 河(har) → か/が(he)

勝(か)つ ← 克(kək) → こく(ke)

着(つ)く ← 到(tog) → とう(dao)

住(す)む ← 住(diug) → じゅう(zhu)

被(かぶ/かむ)る ← 蓋(kab) → がい(gai)

剥(は)ぐ/剥(む)く ← 剥(plük) → はく(bao/bo)

搜(さが)す ← 搜(s'ioŋ) → そう(sou)

会(あ)う ← 会(huad/k'uad) → かい(hui)

帰(かえ)る ← 回(huær) → かい(hui)

座(すわ)る ← 座/坐(dzuar) → ざ(zuo)

魚(うお/いお) ← 魚(ɲiag) → ぎょ(yu) 42

中国語の儿(兒)化現象

- 接尾語としての「儿(兒)」が音節として独立せず、前の音節と1音節として発音され語尾が卷舌音化する (Er hua) 。明代に出現し、清代に一般化。
 有点(=少し。yǒu diǎn ヨウディエン) → 有点儿(yǒu diǎnr ヨウディアール)
- 呉語などでは「r」の代わりに「ŋ」となることもある。
 「麻雀」(スズメ májuè → マージャン májiàng (現代中国語ではこの発音により「麻将」と書かれる)

※ 説明はウィキペディア「**兒化**」の項目等を短縮。

なんとなく、日本語文末の

- ~「わ」
 例：行ってくるわ。
- ~「ん」
 例：遅れるかも知れん。
 に似ている。

明代以前はなかったか？

野
口
推
定

明代以降、木版印刷技術が進歩して白話小説(口語の小説)が流行したため、口語が記録されるようになった。

中華民国時代になると、小説を口語で書くことが普通になったため、分野としては消滅した。

韓国語での漢字音

日本語の成立には、古朝鮮語、特に百済の言語が影響した可能性が高い。しかし、中世よりも前の資料は、人名などとして断片的に残るに過ぎない。しかし、現代韓国語でも資料として役立つかも知れない。

主な渡来人

- **王仁**（わに、和爾吉師）・・・千字文と論語を伝えた？ 西文（かわちのあや）氏の祖。西文氏は文書記録を司った。
- **阿知使主**（あちのおみ）・・・土木建築技術や織物の技術者を輩出し、軍事にも秀でていた東漢氏の祖。
- **秦氏**・・・聖徳太子の舎人だった秦河勝以外、政治にはあまり関与せず、もっぱら殖産に勤しんだ。

韓国語漢字音研究者：故**河野六郎教授**。平凡社「河野六郎著作集」（1993/06刊、全3巻）。たとえ古書店にあっても高価、しかも私（野口）に理解できるか？

韓国語資料：

- 帝国書院「新詳高等地図」掲載の地名（カタカナ＋漢字）
- ニュース、インターネット上の情報で知った人名（政治家、ジャーナリスト、文化人）

中国語資料：

- 学研「新漢和大事典」
- 小学館「中日辞典 第2版」
- 大修館「新漢語林 第2版」

韓国語の漢字音と上古音・中古音①

古中国語語尾の「t/d」 ↔ 「l」

漢字/拼音	上古音	中古音	韓国音	用例
蔚→尉 wèi	iuəd	iuəi	ウル	蔚山（地名）
哲 zhé	tiat	ʈiɛt	チョル	金哲（人名）
悦 yuè	diuət(*1)	yiueɬ	ヨル	尹錫悦（人名）
一 yī	iet	iěɬ	イル	辺真一（人名）
月 yuè	ŋiuǎt	ŋiuɛɬ	ウォル	月岳山（地名）
率(*2) shuài	siuət	ʃiuěɬ	ソル	金漢率（人名）
日 rì	niet	niěɬ(riěɬ)	イル	日本（地名）

*1 : d の下に点のある発音記号。

*2 : 3つある発音系統のひとつ「ソツ」。他の2つは「リツ」「サイ」系統。

古中国語の語頭の「l」 ↔ 「n」

漢字/拼音	上古音	中古音	韓国音	用例
盧 lú	hlag	(hlo)	ノ	盧泰愚（人名）
洛 luò	glak	lak	ナグ	李洛淵（人名）
論 lùn	luən	luən	ノン	論山（地名） ⁴⁵

韓国語の漢字音と上古音・中古音②

古中国語語頭の「l」 ↔ 「y」

漢字/拼音	上古音	中古音	韓国音	用例
麗 lí	lār	lei	ヨ	麗水（地名）
龍 lóng	liuŋ	lioŋ	ヨン	龍岡（地名）

古中国語語頭の「l」が脱落

漢字/拼音	上古音	中古音	韓国音	用例
李 lǐ	liæg	liɛi	イ	李明博（人名）
利 lì	lied	li	イ	利川（地名）

※ 姓の「李」を「イ」と読むのは韓国式。北朝鮮では原音回帰運動が起きて元のように「リ」と読むようになった。

古中国語語頭の「n(r)」が脱落

漢字/拼音	上古音	中古音	韓国音	用例
日 rì	niet	niět(riět)	イル	日本（地名）

韓国語の漢字音と上古音・中古音③

古中国語の「ŋ」 ↔ 「w」

漢字/拼音	上古音	中古音	韓国音	用例
原 yuán	ŋiuǎn	ŋiuɒn	ウォン	水原 (地名)
元 yuán	ŋiuǎn	ŋiuɒn	ウォン	元山 (地名)

古中国語語頭の「ng」が脱落

漢字/拼音	上古音	中古音	韓国音	用例
牙 yá	ngǎg	ngǎ	ア	牙山 (地名)

古中国語語尾の「m」が残存

漢字/拼音	上古音	中古音	韓国音	用例
林 lín	liəm	liəm	リム	鷄林 (新羅の異称)
咸 xián	həm	hɒm	ハム	咸興 (地名)
南 nán	nəm	nəm(ndam)	ナム	江南 (地名)

古中国語語尾の重母音「ui」 ↔ 「u」

漢字/拼音	上古音	中古音	韓国音	用例
水 shuǐ	thiuər(*1)	ʃui	ス	麗水

※ *1 「ə」の上に三声の記号「ˇ」あり。

韓国語の漢字音と上古音・中古音④

古中国語の重母音←→中間音的な母音

漢字/拼音	上古音	中古音	韓国音	用例
在 zài	dzæg	dzəi	ジェ	文在寅 (人名)
恵 huì	huēd(*1)	huei	へ	朴槿恵 (人名)
愛 ài	əd	əi	エ	秋美愛 (人名)
泰 ài	t'ad(*2)	t'ai	テ	盧泰愚 (人名)

※ *1 「h (上鉤付きのH)」は有声声門摩擦音で、息漏れ声またはささやき声の短いもの。

※ *2 「' (逆向きのアポストロフィー)」は弱い気音。

これらの特徴がいつできたのかは不明。私は、中国戦国時代から齊、呉、越の遺民が朝鮮半島西岸に移住し、官人階級を形成した結果、[吏読](#)とともに発生したのではないかと想像しているが、はたして……。

「頭音法則」

- R の音は、語頭では消滅するか N になる。
- 外来語には適用されない。(例：Radio = ラディオ○、ナディオ×)
- 北朝鮮はこのルールを廃止して、古典音に回帰した。

韓国語には「R」と「L」は意味上区別されないという法則もある。

海水面上昇→東シナ海平原(大陸棚)からの避難

東シナ海平原は無人ではなかった！

気温上昇



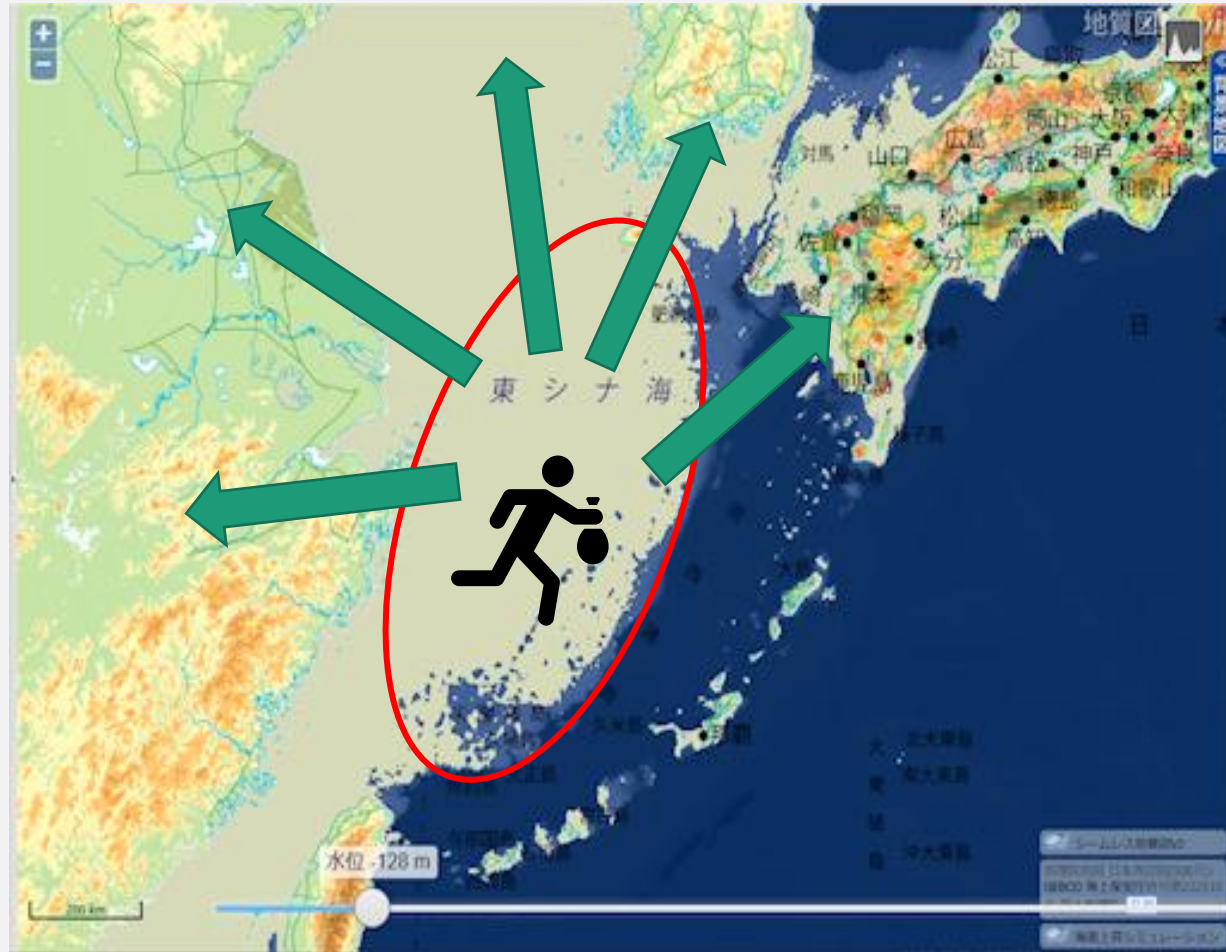
海水面上昇

2～3千年タイムラグ

生活の根拠がなくなる

避難先

1. 九州
2. 朝鮮半島
3. 遼河流域・中原
4. 山東半島根元
(黄河・淮河流域)
5. 長江流域



産総研「地質図 Navi」にて作成した海水面-128mの東シナ海地図を加工

※歩くよりも舟を漕いだ方が楽だったのではないかな？

縄文中期～弥生・古墳時代の移住



地質図Naviの地図に図形・文字を追加した

徐福のルーツ①

黄帝① (姫姓有熊氏)

└ 玄囂(げんごう)② = 黄帝の長男、少昊。己姓

└ 嶠極(きょうきよく)

└ 鬻(こく)④ = 帝俊(しゅん) (俊)

└ 摯(し)⑤ = 鬻の長男

└ 放勳⑥ = 鬻の次男、**堯**。重華に禅譲。

└ (名前不明)

└ (名前不明)

└ 陸終

└ 樊 (昆吾氏祖。 [下に続く](#))

└ 昌意 = 黄帝の次男

└ 顓頊(せんぎよく)③ = 昌意の長男

└ 窮蝉

└ 敬康

└ 句望

└ 橋牛

└ 瞽叟(こそう)

└ 重華(ちようか)⑦、**舜**。禹に禅譲。

└ (4代?)

└ 鯀(こん) ([妣姓](#))

└ **禹**(う) (夏王朝の創始者。 [下に続く](#))

家系の情報は
ウィキペディア
と百度百科によ
る。

徐福のルーツ②

(姒姓)

└ 禹(う) (夏王朝の創始者)

└ 啓 (夏王朝第2代)

└ 女脩 (女性)

└ 大業 (嬴姓を授けられた)

└ 伯益(はくえき) (禹王崩御時の執政。別名多数)

└ 大廉 (→ 秦王室、趙王室)

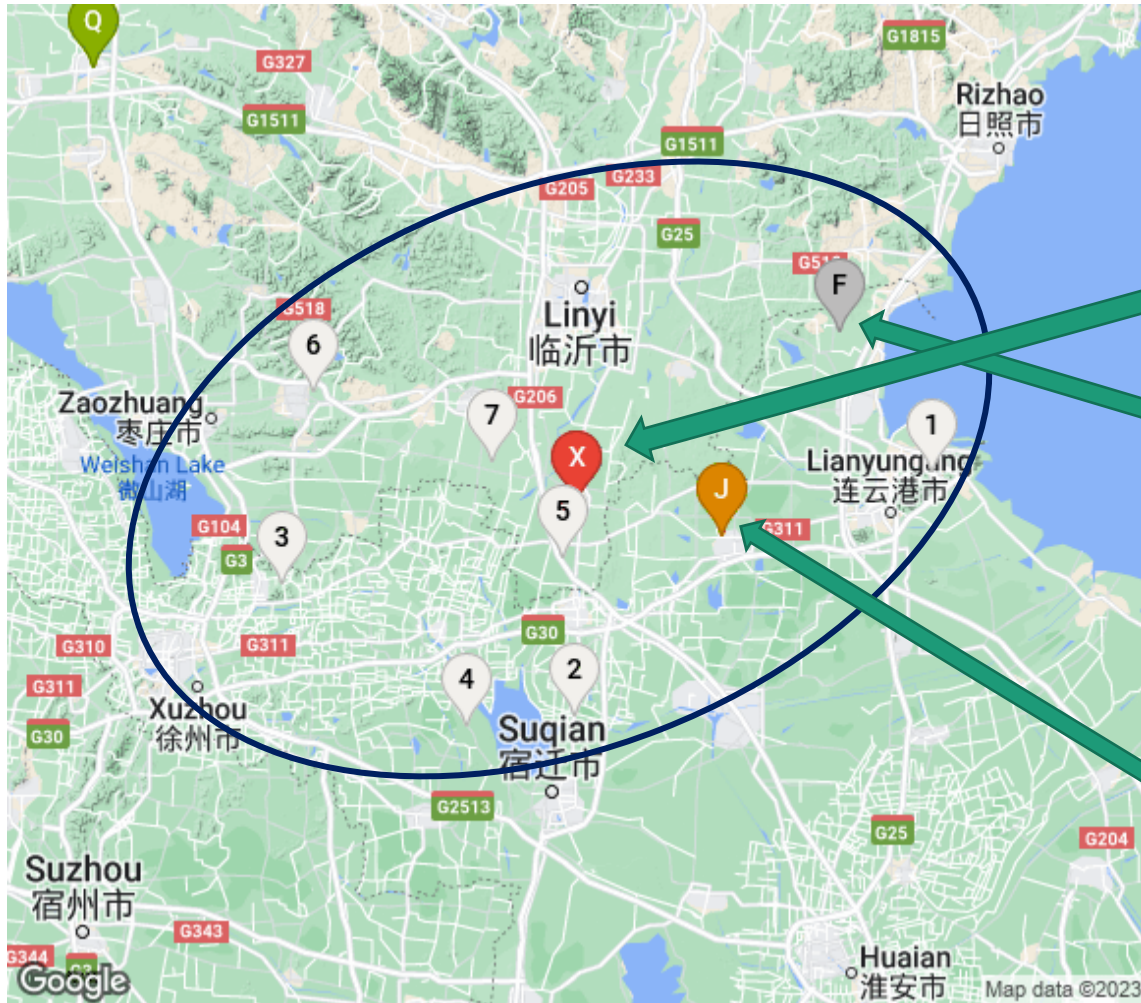
└ **若木** (→ 夏～戦国の**徐国**) --- 偃王 --- **徐福**

└ 玄仲 (→ 夏王朝江国)

周康王の時、徐偃王は東夷を率いて周に反抗した。あまりにも勢いが盛んだったので、周は東方諸侯を偃王に属させた。

✧ 徐福は黄帝～禹～伯益～徐国王室の血を引く名門出身。

徐氏の勢力範囲



郯城県を中心に、山東省・江蘇省・安徽省の境界地域が根城。**徐夷**とも。

- **X** = 郯城（山東省臨沂市郯城県）
- **F** = 徐福村（連雲港市贛榆区金山鎮前徐福村/后徐福村）。同じ贛榆区に秦代の造船所遺跡あり（柘汪鎮大王坊村）。
- **J** = 焦庄(Jiaozhuang)遺跡（連雲港市東海県焦庄）
- **1~7** = 焦庄（村）

※ 徐州市は本来は「彭城」であり、徐氏とはあまり関係ない。

徐福伝説が史実であれば.....

百度百科の徐福の項目によると、徐福村のある連雲港市贛榆区の資料では、

徐福、字は君房。齊地琅琊郡（現在の江蘇省連雲港市贛榆区金山鎮徐福村）の人で、秦代の有名な方士。鬼谷子先生の最後の弟子と伝えられる。博学多才であり、医学、天文、航海に通曉し、沿岸一帯の人々の間で甚だ名望が高かった。

となってる（訳文：野口）。

- ◆童男童女3000人＋百工（様々な技術者）
- ◆出港地は司馬遷の「史記 淮南衡山列伝」に基づいて
 - ・北京の北東にある河北省秦皇島市（第1回）
 - ・浙江省寧波市慈林市（第2回）

が有力であるが、近年連雲港市贛榆区柘汪鎮大王坊村に秦代の造船所遺跡が発見されているので、造船はこちらで、上記2ヶ所は秦帝国での寄港地だったのかも知れない。

- ◆ 出港の目的：
 - ・（史記等）不老長寿の靈薬を得るため
 - ・徐福にとって新天地を求めて（野口の推測←童男童女＋百工という構成）
 - ・始皇帝にとって徐福の新天地を領土にするため（野口の推測）

少年少女中心のコロニー社会

- ✿ 童男童女3,000人（10代前半？ 基本的には親は同伴しない）
- ✿ 指導者層（徐福、徐福一族、その他方士？）
- ☆ 百工（様々な技術者。家族同伴？）
- ☆ 船員（船長、水先案内人、水夫＝漁民出身？）
- ★ 合計5,000～10,000人？



数ヶ所に分かれて入植？
探検隊を派遣？

- ◆ 小児語の混入
 - ・ 繰り返し語
 - ・ オノマトペ（擬音語）
 - ・ 語源俗解
- ◆ 語彙の不足
 - ・ 行政用語
 - ・ 文化用語
- ◆ 識字能力者不足
 - 古代社会は文盲が多い
- ◆ 共通語の必要性
 - 出身地が様々な場合
- ◆ 軍事力不足
 - 将校级、下士官級
- ◆ 不完全な祖先伝承
 - 未成年のうちは祭祀の主
宰者にはならない